

知床の窓から見えるもの

第42回ふるさと少年探険隊 いざ！！出発！！

今年も開催されました！ふるさと少年探険隊っ！！

羅臼町内の小学生中高学年～中学生を中心に、知床半島で過ごす5泊6日の課外活動です。今回も保健係として看護師も参加させていただきました。

そこは世界自然遺産区域。生息する動物含め大自然に囲まれており、道路はありません。知床岬を目指して、崖を昇り降りし、干潮時間に間に合うよう海水を浴びながらも岩壁を伝い、海岸線沿いの岩場を重たい荷物を背負って、自分の足で目的地までひたすら歩いていきます。私も気合が入ります！！

初めて参加する子どもたちも、知床に住んでいるなら行ってみたい！知床岬で夕日を見たい！友達と一緒にいきたい！とそれぞれの目標を持っています。みんなほんとにかっこいいです！！

私は、小児科病棟勤務が長かったので、子どもだけは怪我をしないように、辛くならないように、つつい手厚くサポートしたくなります。ですがっ！！子どもたちが頑張るところ！！大人は邪魔してはならない～～とひたすら見守りです。チャレンジする姿勢、子ども同士で話し合った結果の班行動、仲間と協力する姿に、成長していることが目に見えてわかります。

天候は思った以上に快晴で気温が上がり、風が吹き続けば寒く、体温調整が難しかったです。怪我、脱水、熱中症、低体温など想定する傷病に対し、医療物品を持ち運ばなければなりません。私もなかなか荷物の重さに体力奪われますが、スタッフ同士で協力してくれます。子どもたち、大人たちも協力しあい、今までの生活には無い団結力を得ることができました。

今回はクジラの漂着による熊の出没リスクが高く、知床岬先端までは行けず、残念でしたが、それも自然の力と思っています。去年は地震、津波警報により途中撤退という結果となりましたが、今回は災害が起こることなく、探険隊は無事に帰還することができました。

次回の探険隊も何がおこるかわからない、そんなワクワク探険隊にまた入隊したいです。

